

足立の中学生が世界5位に！



興本扇学園9年生 樋口 裕大さん
ブレイメン国際大会
17歳以下55kg級 5位

以前、本誌で紹介した興本扇学園の樋口裕大さんが、ドイツで行われた柔道の国際大会で5位という素晴らしい結果を残した。

初めての国際大会は、戸惑いの連続だった。体が大きく力の強い外国人選手との対戦、試合当日の会場や開始時間の急な変更、そして「お米のよい食事」という日本人ならではの悩みがあったという。樋口さんは「せめてメダルが欲しかった」と大会を振り返り、悔しさを滲ませた。しかし、これらの経験は、今後の柔道人生で活かされる場面が必ずあることだろう。

現在、樋口さんは「8月の全国大会優勝！」をめざして練習に励んでおり、目標どおり優勝となれば、再び国際大会への道にも繋がる。国内だけではなく、世界での大きな活躍にも期待したい。

すごいね！
足立の
子どもたち

vol.6

心をつないで、男女ともに3位！！ ～中学生「東京駅伝」大会～



5月14日 区長表敬訪問

「誰か一人でも諦めたら3位という結果にはならなかった。みなさんの活躍で区民の心が一つになりました。ありがとうございます。」と近藤区長の一言。



3月20日、第3回を迎えた中学生「東京駅伝」大会で足立区選手団は男女とも3位という好成績を残した。昨年の第2回大会は東日本大震災のため中止となったが、第1回大会の男女とも2位に引き続き、2大会連続入賞を果たした。

足立区選手団は、11月に行われた駅伝競走大会で選ばれた男女41名で構成されている。選手団結成後は、荒川河川敷や舎人公園での合同練習に加え、12月には鹿沼で強化合宿も行った。総監督の関口政利校長先生（第十四中学校長）が「合宿での成果は大きい」と語るように、一泊ではあったが寝食をとることで、環境を変えて練習したことで、どのチームにも負けないチームワークが生まれた。

女子チームキャプテンの佐藤みな美さん（第十一中学校）は「昨年出られなかった先輩の想いも一緒に走った」と言う。大会中止により出場できなかった第2回チームの想いだけでなく、入賞を果たした第1回、第3回チームの想いも、次の足立区選手団に受け継がれていく。